

よこのやま新聞

湯山神楽を後の世代へ



ブログもやっています
「よこのやまぶろぐ」

湯山集落の伝統芸能である『湯山神楽』。この度會長の小口公夫さんより依頼を受け、湯山神楽の過去映像を編集してナレーションを入れつつ1本の映像を作ることになった。現在編集に向け準備を進めている。

躍動感ある踊りと囃子

編集する前に、神楽の演目をビデオテープ、DVDで一通り拝見させていただいた。ほれ、あれ誰か分かるか？〇〇さんだよ。歳取っちゃったなあ「小口さ



んの懐かしさと嬉しさの混ざり合った口調で所々演目説明が入り、映像は進んでゆく。全体を激しく使って表現をする踊りも数多くあり相当の運動量であるうことは疑いない。ましてや本番は8月の暑い最中での長い公演だ、体力維持も並大抵の事ではあるまい。長年神楽開催を続けている湯山集落のパワーは本当にすごい。

現在ベテラン世代から集落の若い方々に踊りや囃子の引き継ぎが進んでいる。動画編集では引継ぎにおける想いやこれからの神楽保存に向けての方針などを内容に盛り込むことができると思案中。

田んぼの超繁忙期がひと段落し、8月の本番に向けての準備も始まった。皆さんと相談しながら進めてゆきたい。

食育実習で田んぼ体験！ 兎口

6月10日、新潟市の専門学校生達が食育実習で兎口の滝沢農園を訪問し、無農薬の田んぼに生えた草を取る作業に汗を流した。

100名近くの学生さんが1か所に集まると非常に壮観な眺め。5月26日には田植えの実習でも訪問をしているが、折しもこの時期は非常に水の少ない時期であったため、従来よりも草の生え方が早く、多い。しかも土も乾いた箇所は固く、草取りも容易ではない。

草刈り、真ご盛り

田んぼや水路周り、施設の維持など、雑草が生い茂るシーズンとなった。松之山の至る所で草刈り機のエンジン音が威勢よく聞こえてくる。聞こえない日はほとんどなく、あるとすれば大雨の時くらいのものであろう。我が担当3集落も例外ではなく6月から7月にかけては草刈りの応援依頼が多くあった。

兎口集落では神社と大松山、湯山集落では農業用水路のため池周辺、黒倉集落では多面的機能支払交付金事業のため池整備など

除草剤を使用しないため、ある程度の草は生えているんじゃないかなと思っただ。でもこんなに草取りが大変とは思わなかった」とある学生は言う。

腰をかがめ、両手を使って草を抜き、泥の中に埋める。口でいうのは簡単だがかなりの重労働だ。滝沢農園の滝沢繁さんは「日々の仕事の大変さを知ってもらうことでお米の貴重さを理解してもらえたら」と学生達に伝えていた。

など。少しは上手になっただろうか？微妙なところもある。田んぼの草刈りもあって、計画的にやっつけてゆかないとなかなか大変だ。ましてや今年は雨が少ない状況で草が出るのも早い、という。

田んぼの水が少ないので草が生えやすい。一体どれがイネでどれがヒエなのか？よく分からない状態からのスタートであったが、たくさんむしるうちにだんだん草の種類も分かるようになってきた。

パソコン無料相談好評です

松之山の様々な集落で依頼をいただくようになってきました。パソコンの不具合が解消しない！操作方法が分からない！などのお困り事解決いたします！無料出張相談を随時行っておりますのでお気軽にお問い合わせください。スマホの操作等もお手伝い致します！お問い合わせは横山、又は松之山支所地域振興課まで。電話025-596-3131
自転車修理も承っています。お気軽にどうぞ！

はこうある。『の農人は草の末だ目に見えざるにうち芸（やさぎ）り、中の農人は見えて後芸るを下の農人とする。是土地の咎人（とがにん）也』このように、古来から草を取るということは農村にとつては非常に大切かつ当たり前のことであった。やはり田んぼをやる以上怠けてはいられないという気持ちになる。農業技術が発達している現在ではあるが、気象環境によつては農業が効かないこともある。だからこそしっかりと田んぼを日々点検することが重要。日々勉強だ。